

積雪期

1992年



G.W.までの山行
報告



Shinshu Univ.

Alpine club

もくじ

◎個人山行

八ヶ岳東面

八ヶ岳西面

唐沢岳・赤岩大凹角ルート

上高地キャンプ

唐沢岳・赤岩大凹角ルート

八ヶ岳西面

剣岳早月尾根

八ヶ岳西面

仁事山峰のライミングツアー

八ヶ岳縦走

八ヶ岳大同心電線ルート

大目岳～剣岳

白馬主稜

◎春の縦走

中央ルート

甲斐駒～鳳凰三山

◎G.W.合宿

双子尾根～白馬

鹿島槍東尾根

◎反省感想

◎作文コーナー

ページ

1~2

3

4

4

5~6

10~11

11~12

12~13

13~14

14

14

15

16

6~9

9~10

17

18~19

20~24

25~28

八ヶ岳東面

八ヶ岳東面 地獄谷定着 (1/15 ~ 1/19)

↳ 兼岩, 河西, 橋口, 植垣, 長谷川(哲), 安保, 松沢

1/15 09:40 美しい森

013:00 出合小屋 B.C

兼岩, 橋口 入山, 河西は, 聖朝 B.C に来る.

氷を登る予定であったが, 埋まっていたり水が流れたりして登れなかった. 権現岳東稜の取付までトレスをつける. つぼ足で, 時々ももまでのラセル,

1/16 権現岳東稜 ↳ 兼岩, 河西, 橋口

08:15 B.C

017:30 主稜線へ出る

018:50 ツルネの頭

020:00 ツルネ東稜上にてビバー? (B.C)

大系のルンバ(取付)は, いやらしいので避け, 左手の尾根を登る. 基部(岩壁)ポイントトレス(35m), さしにルンバ~ 右手のナイフエッジで東稜の稜線へ出る.

樹林のナイフエッジ, 木登り, ラセルでギャップへ.

ギャップより(40m + 30m)でポイントトレス基部ルンバと間道へ, いやらしい草付を登る. 40m(Ⅳ) + 40m(Ⅴ)で尾根上へ出, さしに, リッジを攀り主稜線へ出る.

稜心部の皿継ぎは, 細かいがホルトがあり, どうにかなる.

ヘッドラをつけて, 下りたしたが, ツルネ東稜の赤テープが段々見つけにくくなり, ビバー? とする.

1/17 08:30 B.C

09:30 B.C

橋口へ帰る. 夜, 後登隊が B.C に来る.

1/8 赤岳 天狗尾根 兼岩、河西、植垣、長谷川(哲)、安保、松沢

⊗ 6:00 B.C

⊗ 17:00 縦走路に抜けて、フレム方面に下山。EとE3で暗くなり

ヒバーク(B.S)

30m 岩峰と最初、河西が左から登ろうとするが、ムズク、右から巻く。岩稜帯は、松木と植垣をアサカトと混じえ、コンテで登る。大天狗は、岩壁を右上にポイントそれに登るが、III+位に感じ、結構ムズイ。縦走路に抜けて、赤岳沢側に、風のよけられる場所を見つけ、ヒバークするが、横にたれず、シビリなヒバークにたりました。

1/9 08:30 B.P

09:00 B.C

09:30 美しい森 (新雪が積もり、ツルネ東後は、雪崩そうぞうで恐かった。)

東面は、入山者が少なく、かきかせな山行が楽しめるが、私は、西面の岩稜を登っている方が、荷物も軽しいし、好きである。ただ、天狗尾根は、晴れば、オウガイルートで、快適なり、シ、ふと緊張させられる岩壁となかたがらのものである。権現東後は、核心部以外、外つまずなくて、おすめできません。(兼岩)



2.8-2.12 入岳

2月10日 ジョウゴ沢右ルンゼ 藤江・田尻 10:00~

右となりの細ルンゼを2Pで登りTRを張る。ムズイ

TR支点は良くなったのでセッには注意しよう。

なお大滝の方がゴヨウで着けます (藤江)

★ 八ヶ岳西面 (2/8~11)

L兼岩, 橋口, 田尻, 藤江, 内田, 伴野
 強兼伊, 赤岳鉱泉B.C. (0.8)

2/8 赤岳主稜 L兼岩, 田尻, 伴野

06:30 B.C

08:20 取付

まるで問題なし。

010:40 赤岳山頂

(大系じょうり)

012:00 B.C

スタカトは. 2P. 北は. コンテ

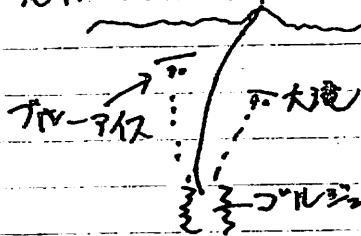
3/9 沢 ICE CLIMBING

F2は. フリーヤド. (ほとんど埋ま. ていた.)

大滝 L兼岩, 田尻 中ほど つまなし. (氷が流れている)

L伴野, 藤江 右側

大滝の左の尾根の向こう側には. ブルアイがある!



3/10 小同心クラック L兼岩, 橋口, 内田

06:00 B.C

(40.40.20.コンテ, 20)

07:50 取付

2P目が核心で. 急登りになって登る。

010:20 横岳ピーク

ここはH(IV)で. 後は. (Ⅲ)位。

012:00 B.C

このルートは. "岩登り" ができるので. 楽しい。

3/10 沢右保 ICE CLIMBING (兼岩, 橋口)

F1は. 恐いから. 下部のみ. 左のボルトで遊ぶ。

内田, 伴野は. 下山

3/11 07:00 B.C

南沢中滝を Top rope で遊ぶ。

012:20 帰る。

★唐沢岳 幕岩 大凹角ルート

唐沢岳 幕岩 大凹角ルート L中嶋(08). 河西

2月9日

⑦7:50 七倉 —— ⑦8:40 高瀬ダム —— ⑦11:25 右稜のコル

先行パーティーが4つもあるため順番待ち。不用装備をデポシ

⑦14:30 登攀開始 —— ⑦17:00 ビバ-7地

ビバ-7地は 洞穴テラスから右へ25m程トラバースしたところ

2月10日

⑦6:40 開始 —— ⑦12:10 中央バント —— ⑦16:40 終了 ——

—— ⑦18:30 右稜のコル. 19:00 帰 —— ⑦21:30 七倉

先行パーティーがいたため、時間待ちを強いられた。しかし、先行パーティーのためにホルドの雪は落され、凍、たボルトは振り出されて容易になっていた。冬壁の力量は簡単に決められない。(記. 河西)

★ 上高地雪中キャンプ (2/15・16)

L 神山, 松澤

2/15 ◎ 6:00 坂巻温泉発

↓ 7:45 大正池

○ 9:15 小梨平 T.S.

↓ T.S. ← 明神池

↓ 4:30 T.S. 着

2/16 ◎ 9:30 T.S. 発

↓ 梓川右岸

↓ 11:30 大正池

↓ 13:30 坂巻温泉

感想 雪の上高地は静かで気持ちいい。

唐沢岳 稗岩 大凹角ルート

山 作道 (CMC), 植垣, 小久保, 牧野

2/23 9:00 @ 高瀬ダム

12:00 | 大町の宿 B.C.

13:00 ↓ : 稗 大凹角 1P Fix

18:00 @ 大町の宿

作道, 植垣 へ 入山. 大町の宿 から 大凹角 取付き まで

●ルニセは No PROBLEM.

2/24 6:30 @ 大町の宿

17:30 @ 中央バード B.S. ↓ 1P エマリング 後 5P

スリーシャワー が ひきりなし に 落ちて きて うっとうしい.

中央バード は, 京都ルート と 山嶺 第一ルート の 間 あたり に
快適な ビバーク サイト あり. ハネズ を 外 に 寝れる.

2/25 7:00 @ B.S.

15:00 @ 終了. 右稗の頭. ↓ 2P トラバース に 大凹角 に
戻り. 3P.

1:00 (A.M.) @ 大町の宿 ↓ 懸垂 7P.

懸垂 を していたら 夜 になった. 下降 ルート が 分からず 難変 な

とこ に 行くと 雪崩 される ので 右往 左往 していると, 下 から マキ.

ツボ の プラヨ コール が あった. シーバー と ハット ランプ で 誘導 に

も らい. やつ と 降り れた. 牧野 さん, 小久保 さん, テー. ダニカバード

2/26 昼 3 0 B.C. (牧野, 小久保)

大凹角 に タッチ

B.C.

作道, 植垣 は 島山 ルート も 行く 予定 だったが 当然 中止. 右稗 の

エマリング 酒 を 呑みながら 大凹角 を 見物.

2/27 7:00 O B.C. (小沢, 牧野)
 11:00 B.C. 2 大凹角 IP 登攀後けんす。
 12:00 茶
 16:00 ↓ 七倉 条件
 大凹角は入門ルートたごうだが ~~難~~ が悪いとけこう
 あなどれな。高瀬館の温泉はえらく気持ちいい。
 (梅垣)

春山の縦走

・ 中央アルプス
 ・ 甲斐駒〜鳳凰三山

★ 中央アルプス縦走 木曾駒〜空木岳
 L. 伴野, 田尻, 安保, 長谷川(哲).

2/25 二合目 (上松) 9:40 O
 金懸小屋 12:35 O
 小屋の手前と後にはルンゼのトラバースがある。
 2300m 付近 T.S O

2/26 T.S 麓 6:45 O ラッセル有り
 木曾駒岳の手前のヤセ尾根 fix 80m
 木曾駒岳 13:45 O
 宝剣山荘 T.S 14:40 O
 fix をはたせせ尾根はフィッシュがけの2
 スーパーはとみと良い。

2/27 T.S 祭 6:40 ○

宝剣岳 7:05 ○

登りはT=11L2の問題が少し下りは岩場がある。

下りのヤセ尾根に fix 40m とは、T.

檜尾岳 11:00 ○

熊沢岳 12:55 ○

木曾殿小屋 14:30 ○

小江は冬期小屋がある。

2/28. 小屋祭 6:00 ○

空木岳 9:20 ○

登りで雪崩という斜面のトラバースと岩場に fix.

(40m) (30m+10m).

岩場が少し。

池山尾根 2+沢の頭 12:00 ○

迷尾根の頭 12:30 ○

L=セのトラバースを試みるが雪の状態が悪くあきらめて頭へ戻った。

13:45 迷尾根の頭 ○

東方向から尾根の下降を試み fix を 50m 伸ばすが

4:からはバッシュがムとて下降できず。あきらめて

頭近くには下り場を設ける。 14:40 ○

2/29

雨で夜も温かかったため雪の状態は悪い。
トラバースはあきらめ頭から直接東へ下降するこじり
T.S 築 6=15 ●

東へ下りる斜面は急でFIXと張子 45m.

2PMを境にエギルをはずすか岩からでてきて下降困難。

懸垂しなると下れようもない。又、ルートファインディングも

困難。頭へ張子 9=00 頭.T.S. ●

3/1

雨で雪の状態悪い。池殿。

3/2

T.S 築 5=50. ①

6=00 トラバース 4P (50m x 4) ルンゼ 5ヶ所

中間の3ヶ所のルンゼは雪崩かしてしまっていた。

ルンゼは濡れたもので20m位だった。

8=50 エル (トラバース終了)

小地獄は全く問題なし。

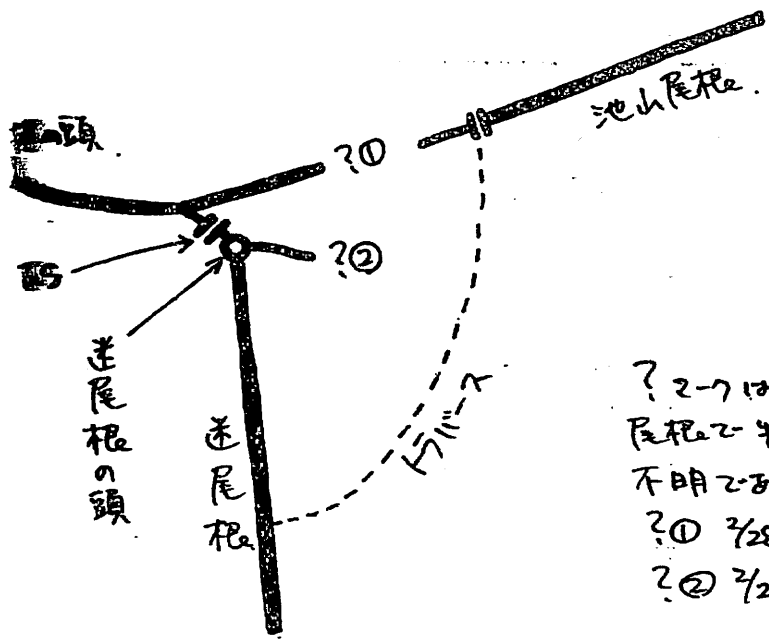
大地獄は7ヶ所。ロープがあるのでエギルは出さずからT=

マセキ 10=55 ① ワカンでラッセル。

池山小屋 12=50 ①

駒ヶ根高原スキー場 14=00 ②

池山尾根は降りぬないと他にエスT-70かいたおいの2-
下降路には通じない。



? 2-7 は下降で3つおいた
尾根で先かどうなるか
不明である。
① 2/28 = 試みた
② 2/29 =

- 2月25日-3月3日 甲斐駒ヶ岳-鳳凰三山
 藤江 兼岩 長谷川 頼高 高橋
 25 横手神社 0740 - 笹平 1020 - 1350 五合小屋
 曇りから7ラ靴。笹平からア化。小屋は使用可
- 26 TS 06200 - 七合小屋 07250 - 甲斐駒ヶ岳 1050
 - 仙水峠 14150 七合小屋使用不可。八合目の上
 岩峰前のヤセ尾根上 1P 40m
- 27 TS 06200 - アサヨ峰 09300 - 早川小屋 12450
 - 広河原峠を越え 2440m 点 14400
 アサヨ峰の東の2700m JPは北側の雪七七会を
 取らていると分枝を見落しやすい。早川小屋は
 埋没。所々ヒース林埋まりパースが5分。白皇峠
 には趣かず。

2/28 TS 06200 - オバリスク前 0930 - 1045 観音岳
 - 1135 薬師小屋 - 1310 南御座小屋 O
 オバリスクにはフーソロ野郎がいた。薬師小屋は
 埋没

2/29 TS 06150 - 0840 夜交神峠 - 0920 高谷山 O
 - 1120 桃木温泉 ● TAXI で 甲府へ。

快晴がつづきトレスはちりてツク物足りず。春の
 縦走には適当でしょう。トレスがなつと樹林帯の
 ルートファインディングが困難かもしれません (藤江)

春の個人山行



	八ヶ岳西面	L 田尻	松沢
3/5	4:00	BOX 発	
	6:10	美濃戸口着 ⊙	
	9:00	赤岳鉱泉着 ⊙	
	10:00	T.S. 発了。夕北後に行き止まり。	
	10:00		
	10:45	行者小屋着 ⊙	
	中岳沢から新道に移る道がよくわからず。中岳沢を ついでにしよう。ガールを出して先に作ってるが。とりまは 分からず。雪の状態もよくない。降りることにする (14:00)		
	15:10	赤岳鉱泉着 ⊙	

3/6	4:00	起床	
	6:15	T.S. 発	⊗
	7:00	行者小屋	⊗
文三郎道に行く道に迷ったほう (8:15まで)			
	9:30	文三郎とアミタの女坂	⊗
赤岳直下の岩稜まで行くが雪が不安定でガールに出して行くが危なそうだから雪も強くなり返すことになる (11:10)			
	11:50	行者小屋	⊗
	12:30	赤岳鉱泉 T.S. 着	⊗
	14:00	赤岳鉱泉 発	⊙
	15:30	美濃戸口 着	①

前に行っていた中がのびてしまい、入山も遅くしたがあまり良くなかった。また参加予定の笹森 伴野も行かず、半ば行きあたりはあたりとなっていました。中岳沢は雪降っている時は近づくべからず。(田嶋)

★ 3/9-19 剣岳 早月尾根 麓江 河西 笹森
 3/9 伊折 12400 - 馬場島 15300
 道路は雪バツ。カシキタピラ車が入っているので歩きやすい。

3/10 TS 0820 ⊙ ⊙ - 1420 / 720m 台地 ⊙
 朝の内雨で出発を遅らす。トレスバツカ
 松尾平から上は雪崩そうな所ばかり。よって天場です。
 2470m 台地は屈かす。

3/11 TS 0810 ⊙ - 1105 早月小屋 - 1240 2300m TS ⊙
 朝の内雪で視界悪く、笹森 不調の為出発を遅らす。
 雪崩そうな所ばかり。高温により雪の状態悪く、
 早めに行動を打ち切る。

3/2 0540①TS - 45m2P - 0910エホ岩前0950
-1150TS 1250 - 1420①1700m台地TS
雪の状態悪くペースおからず、悪天が予想され
Peakをあきらめる。

3/3 TS 0615 - 0820馬場島 - 1020伊折
成功させる当時はACは2470m台地まで上げ
るべきでしょう。ザルはな柱足のそろもパーテー
でいくべき。病人の登る山ではなり。(藤江)



ハケ岳西面 3/2-14 L加藤、長谷川(終)、安保、高橋、神山

3/2 17:10①赤岳山荘 - 19:10①赤岳鉱泉 B.C

3/3 阿弥陀岳北稜 L加藤、安保、高橋、L長谷川、神山

7:15①BC - 9:00①ジャンクショコピーク^{4P} - 11:30①第二岩稜^{2P} - 13:15①

阿弥陀岳 - 14:15①中岳ツル - 14:45①中山乗越(湯割) 15:45

- 16:00①BC (長谷川パーティー)

ジャンクショコピークよりザルを下す。下降路には中岳氷之下る。加藤
パーティーが先行するかほぼ同一行動。

3/4 小同心右稜 - 小同心バシド L加藤、安保、高橋

L長谷川、神山

5:45①BC - 7:00①取リツ - 8:30①下山開始 - 9:00①BC 10:00

- 12:00①赤岳山荘 (長谷川パーティー)

取リツで某T君が車のかぎを紛失。昨日の行動をみれば、本日は時
間切りに存と考えていたのに、みんがにかぎをかきこい、さり下山。加
藤パーティーが先行するかほぼ同一行動。

デュークにとって最後の山行だったか、存じないものには、23日、24日
と行った。

(長谷川)

3/23 27/八ヶ岳西麓 蔵江、田尻、神山、高橋、三木
3/23 美濃戸口 09:10 - 行者小屋 13:10 @
湿雪が糊状トドロス。雪割中止

3/24 阿弥陀北麓 蔵江、神山、三木
夜中湿雪が降りつづき雪の状況が最悪なので
クテン。日中は晴れ、中山乗越で雪割

3/25 阿弥陀北麓 蔵、神、三 ①→①
まとも夜中湿雪が降りつづき。①は裸岩が
良くなるのを待つ。①で蔵江のみで中岳沢
を少々つめるが雪が一步前という感じなので
引き返し、出合で観察する。してのき
中岳沢は自然発生雪崩がおこる。この時期
どうしても北麓に登った人は(いるのか?)
未帰が忠実に尾根をたどりJPを目指す
入きてしよう。1300BC - 1500 美濃戸口

仁寿峰 フリークライミングツアール 兼岩、安保、笹森
その他友情出演の韓国クライマー

5.8 のクラック 2P 兼岩、安保
木スラッグで、スラッグに慣れるため、練習。

西面スラッグ (5.10a) 2P 兼岩、安保、スーさん。

南面スラッグ (5.10b) 2P 兼岩、安保、スーさん、
3P 兼岩、スーさん、イーさん

東面の長いスラッグ (5.9) 兼岩、安保、スーさん、イーさん
スーさんの彼女

西面のショートルート 5.10a, 5.10b

3/25 東峰ルン (5.10b) 7P X-11- 兼岩, 安保, 学生A君, 学生B君
日本チームは、ままと、韓国チームにリードしてもらう。
壺森が、午3:30で現れた。ショートルート。

3/26 シュイナートB (5.9) 5P L兼岩, 安保
安保がショートルート (5.10a) で落ちて足上げがきいた。

3/27 西面大スラブ 1.3P L壺森 2P L兼岩

仁寿山峰は、スラブが中心なので、慣れないとよくランナ
ウトするのでとても恐い。韓国では、大アウトドアゲーム
で、City Galも山靴はいて、ソックスを土に出し、山に登ります。
焼肉も美味しい、みんな親切だし、一度は、行ってみるの
も良いのではないのでしょうか。(注) モンモンカに注意!! 超辛!!
(兼岩)



ハク岳縦走 河西 (単独)

4月9日

① 7:15 小淵沢駅 ——— ② 13:05 編笠山 ——— ③ 青年小屋TS.
2000m くらいから雪あり。TSに付くころは風強く、視界不良 13:40

4月10日

風雪強く、沈滞。15:00 ころから雨となり後雪。

4月11日

④ 6:45 TS ——— アラレ 7:15 248m で待機、天丸回るとる。10:30 越

⑤ 12:00 権現岳 ——— ⑥ 17:30 甲斐大泉駅

天候悪化のおそれがあるため下山 (記: 河西)



ハク岳 大同心虫寝ルート L 中嶋 (OB), 河西

4月18日に赤岳鉦泉に入山 (下ヶ岳) (9日の朝雨が降りきりなので
下山しちかいました。大雨の中岡谷の岩場へ。



大日岳 ~ 劔岳 L 河西 石坂 (三重大山岳部) 石坂 (同左)

4月26日

① 6:50 小又谷出合の橋 ——— ① 9:40 コツ谷ヒノ谷中間尾根取付 —
—— ① 13:00 1540m 付近 TS.

4月27日

○ 5:15 TS ——— ○ 7:30 早乙女岳 ——— ○ 9:45 大日岳 —
—— ○ 10:20 大日小湫 TS.

メンバーの一人が体調不良だ、下のためはやめに行動しよう

4月28日

○ 5:25 TS ——— ○ 7:40 奥大日岳 ———
—— ○ 10:40 室堂乗越 ——— ○ 劔御前小屋の北に TS (2792 峰)

立山川側の雪庇には気が抜けない。夕方より風強くホワイトアウト

4月29日

早朝吹雪のため待機 ① 9:15 TS ——— ① 10:10 黒百合のゴレ

—— ① 11:45 前劔 ——— ① 14:00 劔岳山頂 ———

① 18:20 早月尾根 2280米 付近 TS.

劔に登り、カニのクテバシ、ヨコバシに 30m スリップ。早月の下降、カニのバシ
付近は雪板雪崩の危険があ、たので岩どうりで行く。ザイル 50m 程スリカケ

4月30日

①/② 8:30 TS ——— ② 10:00 松尾平 ——— ①/② 馬場島 11:30

今回の山行では雪がしまっておりワカンも一度も使用しなかった。天候に恵られ
たが、この時機でも劔はまだまだ厳しい。4/30 が本来の姿だろう。

(記 河西)

☆ 白馬岳主稜 4/24-5/1 長谷川(聡) 豊田 兼岩

4/29 7:00 @ 猿尾 - 8:00 @ 白馬岳 - 10:25 @ 八峰 - 12:30 @ 大峰
- 14:23 @ 四峰 - 15:40 @ ニ・三ツツル BS

大雪後の横断は短い。雪崩への注意は必要。この時点で大雪後の下降は中止とする。主稜にトレスは無く、部分的に後続パーティーとトレスを交わすが、ほぼ自力でトレスをつける。ヒザ下のブーツに続く。八峰の登りに下小エッジが鋭く、特に問題なし。足元が崩れやすいため数回確保するが、ほとんどエッジを進む。ニ・三ツツルで雪洞を掘りビバークするが、後続パーティーは元のまま進む。ヒザまでぬけたのでいい。

4/30 5:20 @ BS - 6:00 @ 風ヶ 白馬岳 - 7:00 @ 風ヶ 三国境 -
12:00 @ 風ヶ BS

ヒザは昨日のトレスがあとで足で踏んでぬける。ヒザからは昨日の天気予報通りど吹雪となる。三国境への降り口は雪崩のため後線がゆっくり進む。高山側に下りトラバースをする。三国境から視界が無く、雪崩を踏みぬきながら、下降路の発見はできず、三国境より山側から北の地点でビバーク決定。

5/1 9:30 @ 風ヶ BS - 11:20 @ 風ヶ 下降路発見(三国境) -
13:10 @ 大丸 - 15:40 @ コシウ駅

視界が回復するのを待つ行動開始。いつか三国境にたどり着くか、また視界がよくなり、山側から視界が回復した時に下降路を発見し下山を開始。

主稜自体は馬陸、雪崩を十分に楽しさせてもらいましたが、ぬけからはひさしに三ツツル下見をしてみたい。(記長谷川)

G.W.合宿 : 双子尾根~白馬 : 鷓鴣尾根

★ 4/26-5/2 双子尾根~白馬岳
L 藤江、笹森、橋高橋、松沢、三木、長谷川(哲)
4/26 0715二俣O-0840猿倉-カバ平前 2050m O
小日向のコルは尾根状を選んで登る1P出す。
コルからTSまでヤセ尾根、雪ピがつかく。7P出す。
4/27 TS 0600-2P fix 0710カバ平-0820奥双子のコル
-JP 1130 O -杓子岳 1600 - Peak 直下 TS 1630 O
カバ平の奥双子のコルは雪崩その。降雪直後は(危)。
コルのJPは急なナイフリッジがつかく。トレスに
助けられる。途中の浮石だらけの岩稜に1P fix
雪の状況によっては右がも巻ける。JPがPeak
は雪壁状、ヤセ尾根上4P fix。

4/28 TS 0545 O - 0735 白馬岳 - 0850 2670m JL
- 1125 白馬大池 O → 雪訓
主稜線 → 三国境 → 2670m JL は雪ピと
雪崩に注意(まじ)。

4/29 O 雪訓 day

4/30 TS 0545 O - 杓子岳 コントラ 駅 0900 O
天狗原でルートをまちがって山、神尾根上り
キツくなる。この時期はスキーアの
トレス・マーキングにタマされなかつた。

双子尾根は新人をつれていくと私張りまくり
となり合宿には不向きで(まじ)。降雪直後の
往路下山はとてモケン。(藤江)



GW山行 鹿島槍東尾根 4/29 ~ 5/3
 L. 田尻 伴野 高橋 神山 内田 O.B

4/29 4:20 BOX発
 5:20 大谷原着 ⊙
 6:05 出発
 7:05 東尾根尾根上に出る ⊙

残雪が出てくる

9:40 了げておける ○

1, 沢, 頭直下は雪前軌のような斜面を横に見ながら

地尾根上に行く

10:40 1, 沢, 頭着 ○

T.1をこつにする (高橋の不調もあるため) 南側の斜面で

神山を漕ぎ越してキックステップの練習をする 11:20から

13:20 T.1に戻りヒゲカリストアに適切な場所を

探すかがないので T.1に戻る

4/30 4:00起床 5:20 T.1発 ⊙

6:20 2, 沢頭 ⊙

8:20 第2岩峰基部 ⊙

ここまでには危ないなトラバース地帯と第1岩峰の急な雪壁
 でステップがしかり切れているのでせつと突っ込んでしま

第2岩峰基部から 雪が強くなって来たので降りること
 になる 第1岩峰では 神山のためザイルを出す (50m x 6)

田尻と伴野で交代して先に行く 雪が積もるとトレステ消し 雪面は不
 安定となる

12:20 第1岩峰基部 ⊙

13:00 から トラバース地帯を内田 伴野の

スタカットでまず行ってみるが2p目から 風強くWhiteOut状態
 始めのところに戻ってザイルをかぶり休息 (1500~) ⊙

15:00 ⊙にかかり 視界がまいてきた

ザイルなしで行くことにする

18:30 2, 沢頭 ⊙

その先に地尾根があり ザイル出しで行こうとするが

暗くて危険なので 平坦なところに降りてヒゲカリストアを始める 19:30

5/1

4:30 起床 ⊗ 風は強い

5:00 出発 ⊗

ヤセ尾根 + ナタル斜面で 5p

急なガケ尾根 + ヤセ尾根で 1p

ナタル斜面 で 2p

2ノ沢, 頭手前 で 1p

の計 9p. 内田, 伴野が交代してトレス
をつけて 間に神山も通って行く 天気◎にかわる.

9:20 T.1着 ◎

5/2

4:00 起床

5:30 T.1発 南側の斜面で

雪崩, 新雪が50cm位積もって雪崩には不備

キウキウア, ヒツケルストア, グリート, サルの

確保 最後にヒツケルストア, グリートとやり

13:20 終了. ◎.

5/3

4:00 起床

6:30 出発 ①

8:20 道路に出る ↓

9:10 大谷原着

今回の山行はヒバクといふ事能になつてしまつた点 多いに
反省しなければならぬ. この様になつた原因としてメンバー個人の
の意志が強く通じあつない分隊全体の意志もまとまらなかつた
ことがある. 4/30の行動は 最も最初偵察を主とした
ものであつたが 2ノ沢, 頭の天候からして引き返した方がよい
意見もあつたのを 全体の様子にのみおそれた上に, トレスが切
れおぼろしく生行けると考へてしまい 深い考へなしに行つてしまつた
ことがいけなかつた. また非常時に陥つた時の隊の高橋への
配慮並みに 高橋への指示も不十分であつた. 非常に僕個人
としても 反省をしなければならぬ. (田尻)

春山の反省・感想文

春山の反省・感想 藤江

この春は自分も含めて病人が続出した。いったいどうしたことだろう。俺は八ヶ岳で参加して山行から帰ると体重が5kg↓でした。自分も山でADHDになってしまったことは病人ほど注意がサマシになり危険な存在はなってしまうこと。無理に上にあがって悪化したらドツボです。思い切って山行不参加とお断りが必要で、パートナーもそれを受け入れる度量が欲しいものです。常日頃から体調管理に気を付けるというのがなにより大事であることは言うまでもない。

GWは三日目に好天に恵まれ、春の山行でした。しかし一度荒れ出すと冬山同様。死者30人からの例です。丸子尾根パーティーの人は(GWはユウ)などとは夢にも思わないうつ。

春山の反省と感想

春山は、目がいかなかったのが充実したから。

中国でも岩のぼりができなくて残念だ。

2年ぶりにいた城ヶ川春は、左のしかたが

遠藤由加より下手なのけ、くやしい

(1/10)

今年の春～G.W.にかけての山行は、決して
実りあるものにならなかつたと思えず、むしろ自分の弱い
側面とかを叩きつけられたと思う。G.W.、ルンペンなど
自分に主導権のあるものなど特にそうであった。色
々と反省をしなければならなかつた。

反面、中央での洗脚体験、G.W.でのビバーク体験
など喜ぶ体験では決まらなかつたが、意義としては深い
モノがあつたと思う。(田尻)

春山の反省

あんまり山に行かなかつたけど楽しい春でした。
やはり何か目標がないとトレーニングはできません。

植垣 健太郎

春山の反省と感想

伊半野 達也

中央アルプスの縦走は入山前からある程度の予想はしていたが、
思った以上にハードなコースだった。今日は好天に助けられたこと
に思う。リーダーとしての力量、なごを痛感した。いろいろあつた
楽しい山行だった。

ゴールデンウィーク合宿は、鹿島東尾根というところで、具合が
入っていたが、その割には、満足いく結果にはならなかつた。

内田さんにはいろいろ助けられたように思う。

反省の多い山行となったが、その分勉強にもなった。

反省と感想

高橋 敏

春は全般的に体調がよくなかつたので、自分の体力をよく見極めて、健
康管理に気をつけなければならなかつたと思つた。山を楽しいと思えるようになったのは
いいが、いつまでも上級生に連れていってもらう気分ではいけない。と積極的に
にとり組まなければならなかつた。

G.W. 山行感想と反省

神山 利木

装備を忘れたこと、これは反省という言葉で片付けられないゆりかあってはならないミスであった。他のメンバーに迷惑をかけ、行動に支障もきたした。自分がいかに注意欠けに欠けていたか、それがどのような結果につながったのか身を持って教訓となった。4/30の行動についてどうすれば一番よかったのだろうか。自分の力を過信していたわけではなかったが「いける」と思っていたし、それができるよりに思えた。春山山行は八ヶ岳(阿部院北稜)だけであり、結局積雪期の山行はほとんどこなしていない。それをも考えても今回のルートに取りつくには私はあまりに力不足であった。下山して見上げた鹿島は大きく、とても遠く感じられた。

今回の山行はとてもよい経験となった一方で、一年間を締めくくる山行としてきちんとこなせなかったことが残念であり、2年生になるにあたって多くの不安も残るものとなってしまった。

反省

冬合宿中の燕の山行以降、計画がつぶれて、日数がへたりにして、他の人よりずっと山に行けなかった。残念だ。数少ない山行も、取り付きをまちがえたり、体力不足だったり、力のなさを思い知らされた。ただ、G・Wは天気にもめぐまれ、楽しい山登りができた。相変わらず、歩行のが遅いけれど、一年前の新人合宿を思えば、少しはまともに雪の上を歩けるようになったのだ。G・Wが終わって、去年と同じように、新巻をやった。どうやら山岳会2年生になれてしまったらしい。本当に、山岳会も単位取得制だったら、完全に留年だろうに。2年生といわれても、他の2年生と同じだけのことはできないけれど、出来る限りのことはしたい。学部にあがって、いろいろいいけれど、たくさん山にいて実力をつけたいと思う。今は、新人合宿に向けて、がんばるのみ。

木沢 朋子

三木

G・Wの反省

地図を手に入山のが遅く、ルートの確認を怠ってしまった。行動中も、もっとムンぼんに地図をみるべきだった。

感想

天気がよかったのが良かったが、日焼けで顔がボロボロにあてしまった。

春山の反省・感想

結局、どこものぼれなかった。

雪崩を見たのとデブりの前の記念写真がおもしろいぞ。

危ないと思ったら引きかえすのが重要なのがよくわかりました。

春山山行反省・感想 安保

- 中央アルプス縦走：前半は天気も良く、楽しく歩けた。池山尾根 迷尾根の頭での沈殿は精神的にまいてしまったところがあった。地域研究も自主的にもっとやればよかった。
- ハカ岳 阿弥陀北稜：天気が良くてすごく気持ち良かった。他にもいろいろ行きたかった。
- 韓国 仁寿峰：いろいろな人と話しをしたり、一諸に登ったりして、刺激的で、良い体験ができた。天気も良かったし、仁寿峰の頂上は本当に気持ち良かった。韓国人クライマーに負けぬ様、もっとトレーニングせねばなるまいと思った。

積雪期からG.W.までの感想。

ハカ岳 東面の天狗尾根にて、生剥て初めてぐバークした。冬に、しかもこんな所下、ツェルト一枚、しかもシラフにも入らずに寝ては、すごく心配だった。また、すごくいいだった。

中央アルプス。縦走でも、前半からずっと好天で、眺めもバツグンだった。下山と下降路の池上尾根で2次を強いやる。自分自身、気温も高く、下降には危険を伴うことはよくわかっていたが、「下山したいなあ」という思いも強かった。天狗尾根でぐバークも、この2次もそのときは嫌だったけど、この体験は自分にとって大きなプラスになったと思う。この貴重な体験と大切にしたい、又忘れるはいけな。

学校でも自分は2年になり、一年生も入部してきた。自分も上級生にならんだという緊張感もあって向かえたG.W.山行。凄く気合いが入った。今現在、新人ゼミのま最中である。これから向かえる新人合宿は不安でたまらないが、100%全開で新人合宿を成功させたい。

長谷川哲也

19時くらいだったろうか。僕が夕食を終え、部屋のまん中でゴロリと横になっていると電話があった。初めは断ったのだが、つい金に目がくらんでしまい、OKしてしまった。

立会人は、兼岩さん、長谷川さん、藤江さんの3人だ。店の壁にへばりついているその見本は、話しに聞く程大きいとは思われなかった。が、決してなめてかかってはいけない、とにかく、“20分”という時間が問題なのだ、と自分に言い聞かせた。

どんな事にも目標を持って対処するのが僕の信念だ。店員が運んできた“1300グラムの甘口カレー”を目前にして、まず僕はスプーンでまん中に切れ目を入れた。半分を10分で食べばいいんだ、そう思うと少し楽になれたような気がした。ちなみに普通のカレーは400グラムである。

あわててはいけない、マイペースでいけ、と頭の中でくり返しつ、黙々と口に運ぶ。1/4程食べたところで上着を脱ぎ、Tシャツ一枚になった。『フー、まだ1/4かよ』と思った。

いけない、こんなところでへばっているようじゃダメだ。『フー』なんてダメ息を吐いている場合じゃない。

やっと半分終わった。8分程かかった。もう満腹だ。コップの水を少し口に入れ、考えた。ペースダウンを考えると、残り半分を12分で食べるだろうか。予割を皿いっぱいに入れ、再び半分に分けた。すでに、皿の上に食べ物としてのありがたみは感じ得なかった。食べることによる喜びは苦しみに変わりつつあった。

とにかく口に入れよう。ほとんどがまず先に飲み込んだ。頭がぼーとしてきた。何も考えずただ機械的に、すくって口へ運ぶだけだった。

3/4程食べたところで、コップに手をのばし、水を少し口にしたとたん、胃からというより食道のあたりから、やうらが飛び出してきた。うっ、ヤバイ。左手で口を押さえ目をつぶった。何か持ってきたようだった。いくらなんでも吐くことだけは許されない。

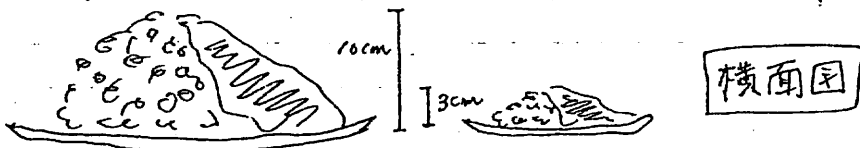
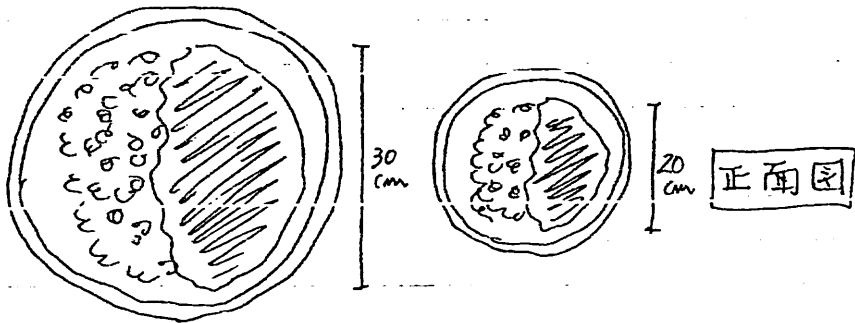
しばらくの間は身動きができなかった。はれ物にでも触るような心持ちだった。

どうやら吐気はおさまった。残り1/4だ。ヒリあえずそいつを一口ずつに分けた。すると、あと10口分ぐらいだった。残り4分。もう限界をはるかに超えていた。グレートチャンポンの方がずつとまじだった。一口食べては休んだ。

兼岩さんたちは「おお、もう楽勝だよ。ゼツタイ食えるよ。あとあとだけだもん。」と言った。誰もムリするなとは言ってくれなかった。

河も考えていなかった。すでに苦しみすらも感じなかった。最後の一口を口に入れ飲み込むと、スプーンを静かに置いた。19分で全て食べた。

終ったとたん、笑い出してしまった。それはうれしかったというより、こんなことをしている自分がバカらしく思えたからだ。オレは何故こんなバカなことをしているのか。バカなことに一生懸命になっている自分がひどくこっけいと思われてしかたなかった。



— 1,300グラム —

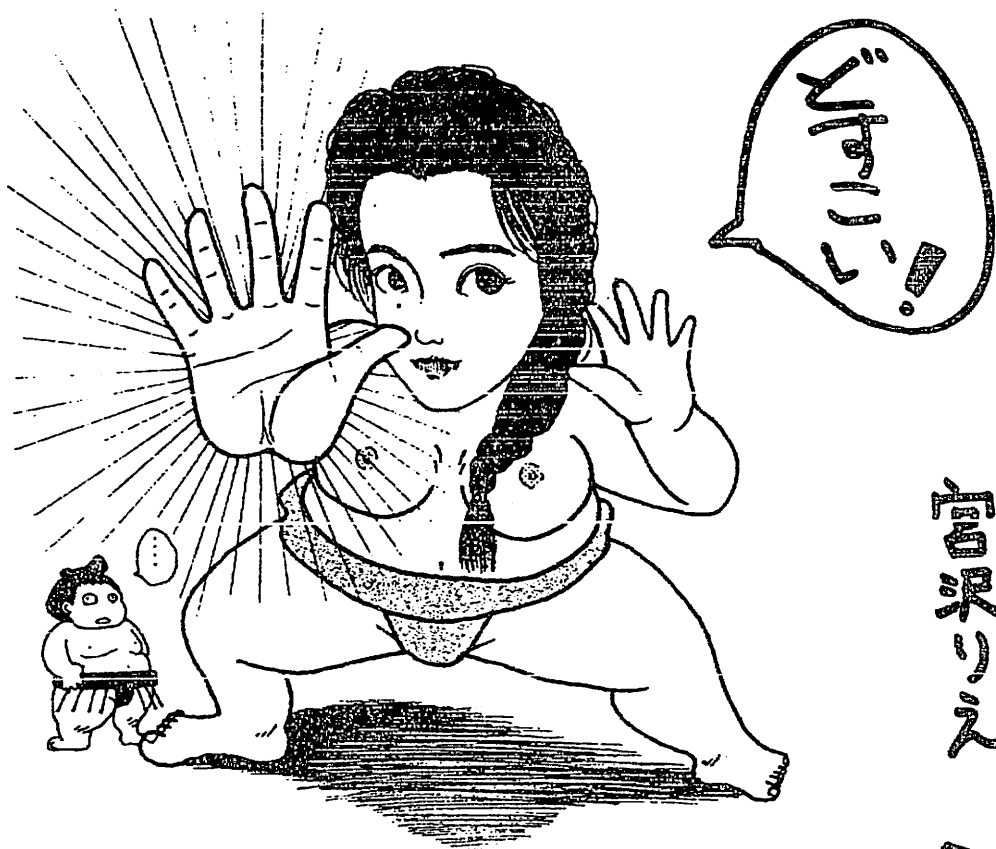
— 400グラム —

僕はもともとワガママな人間で組織の中にいるというのは苦手だ。だから、組織といのが大きな意味を持つ山岳会のようなところに僕がいるのは場違いな気もする。それなのに僕がまだここをやめずにいるのは、逆に拘束されるのにも意味があるからかもしれない。山もだんだん面白くなってきたことだし、山岳会をやめてしまえば、僕はただ自堕落な生活を送るだけだろう。山っていうのは本当に一歩間違えれば死ぬかもしれないから、当然死なないためにはある程度山岳会に拘束されるのも仕方がないと思っている。

うちの会はその点でかなり僕の性に合っていると思う。必要以上に上下関係も厳しくないし、拘束もされない。しかし、不満もあるのである。我慢ならないほどいやなのは、山岳会の閉鎖性である。

この閉鎖性というのは、一つには会全体が他から閉じていること。もう一つは、上級生が上級生だけをかたまってしまうことだ。はじめの方はうちの会はアンチレンドというか、世の中と逆のことをやりたがる傾向があって、実は僕もそういうことは好きだし、今度逆にそういう価値基準で物事を言評価してしまいがちだ。僕はそれが気にくわない。もう一つの方は、特に新歓コンパで感じたことだけど、例えば僕の自己紹介のとき、「文部省唱歌は好きですか」とか、「自分をひねくれていると思いませんか」とか質問されたけど、ここの去年からいた人間だけがわかるのであって、一年生はつまらない。途中で帰りたくなってあたりまえでしょう。ついてなからうという意図で僕は歌合戦もききだ。上級生の楽しみだけのために下級生をつかっているように思う。そんな内にこもった体質で、やめていく人間に対して「最近の若いもんはわからん」なんてい。は。しの年寄りのような言い方をするのはひきょうというもんでしょ。僕としては、せめて酒を飲むときくらいはみんな楽しくやれるようにしたい。

「フツボシ」はいて
「ヌード」になって
「太りやすい体質」の末路は……



太りやすい

彼女なら「コ」までやる!

積雪期からG.W.までの
山行報告書

信州大学山岳会

発行、印刷：松本